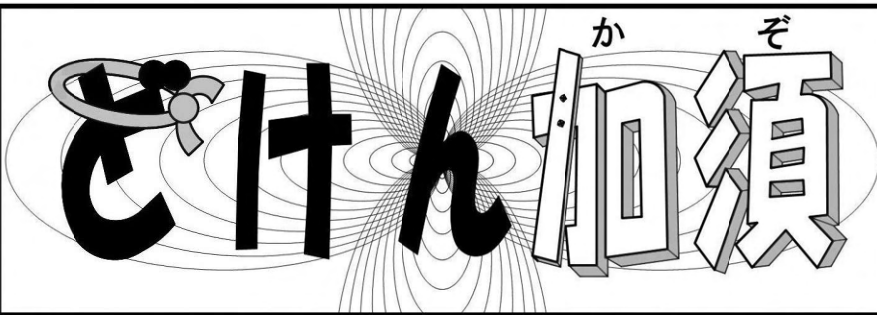


★重要

国保料は**毎月13日**が  
引き落としです  
(土・日・祭日の場合は次の日です)  
事前に**口座の確認**を  
お願い致します



発行所  
埼玉土建一般労働組合  
加須支部  
〒 347-0017  
埼玉県加須市南篠崎2-2-5  
TEL : 0480-65-7114  
FAX : 0480-65-6569  
発行人：教育宣伝部長 渡邊多喜子



岩崎元議長から水野新議長へ (左：岩崎さん 右：水野さん)

## 新たな役員体制で 先頭に立つ方針が示され

加須労連  
定期大会

加須地区労働組合連  
合会の2025年定期  
大会が11月30日(日)  
に埼玉土建加須支部の  
2階で開催されました。  
加須労連役員と加盟  
組合のうち4組合から  
加須労連役員・代議員  
あわせて20名が参加し、  
埼玉連の占部副議長お  
よび日本共産党加須市  
議団3名から来賓とし  
て祝辞をいただきました。  
また、加須市、東  
武鉄道労組、新婦人、  
5名の加須市議からメッ  
セージも寄せられまし  
た。

### ■労連が市民とともに

大会では、国会で衆  
参共に与党が少数とな  
る中で新たに誕生した  
高市政権が、極右排外  
主義勢力を巻き込んで  
裏金事件に無反省のま  
ま軍拡と大企業優遇を  
加速させていることを  
批判し、加須労連が市  
民とともに労働者と市  
民生活を守る先頭に立  
つ方針が示されました。

## 年末年始休業のお知らせと緊急連絡先

12月27日から1月5日は本部・支部とも閉所とな  
ります。共済関連で被災などあった場合には、以  
下の業務ごとの連絡先にご連絡下さい。

- どけん火災共済・地震共済(罹災受付) 03-3366-7908
- 関東自動車共済[緊急事故受付] 0120-89-8819
- 関東自動車共済[ロードサービス] 0120-80-6324
- ※平日9～17時は関自共済埼玉県支部へ(048-641-8054)
- 全労災、火災共済0120-13-1459・マイカー0120-08-8924
- 福祉葬祭 0120-37-4949
- ODRPネットワーク[自動車修理] 0120-84-9704

## 埼玉土建健康保険 資格確認証について



昨今、不安を煽る情  
報が出ていますが、埼  
玉土建の資格確認書、  
資格確認書のお知らせ  
は2026年3月31日  
まで有効です。来年度  
以降も同様の確認証を  
発行予定です。

新たな役員体制では、  
埼玉土建加須支部の支  
部長・水野茂男さんが  
加須労連の新たな議長  
に、副支部長の本木充  
宏さんが新たな副議長  
に選出されました。  
6年春闘の取り組みが  
おもしろいと思います。

本部機関紙でも  
「民意に逆らう  
危険性と脆さ持  
ち」との題名で  
取り上げられて  
いますが、ここ  
らは11月上旬迄  
の事柄である様  
に思えます。そ  
こで中旬以降を記すこ  
とに。11月7日に高市  
首相は、中国による台  
湾侵略を巡り集团的自  
衛権を行使できる「存  
立危機事態」になり得  
る、と答弁した。立民  
党の岡田克也氏が存立  
危機事態になれば、日  
本も武力行使する事に  
なり、当然反撃も受け  
る。軽々しくなるかも  
しれないとか述べるこ  
とは問題だと発言し、  
10日の衆院予算委員会  
で、立民の大串氏が  
(存立危機事態の答弁  
を)取り消す、あるい  
は撤回した方が良いの  
では?と発言したのだ  
が、高市首相は、政府  
の従来の見解に沿った  
もので、戦艦を使って  
武力の行使も伴うもの  
であれば、どう考えて  
も存立危機事態になり  
得るケースだと私は考  
える。これは戦争になっ  
ても仕方がないという  
ことなのか。危険極ま  
りない高市首相。他に  
もまだある危険、最悪  
の総理大臣だ。

記 川名



## 日程表

日	曜	12月
19	金	支部納入 総がかり行動
20	土	地域職長講習・春日部
21	日	わいわいお楽しみ(クリスマス)会
22	月	☆共済部会 ★組織部会
23	火	☆組織検討会議
24	水	☆教宣
25	木	☆臨時常執(案)
27	土	冬季休業 後援会忘年会
日	曜	1月
5	月	冬季休業
7	水	☆執行委員会
9	金	9の日
13	火	☆労連役員会
14	水	新春スタート宣伝
16	金	12区会合

\*情勢や運動・活動により日程の変更がある場合があります。ご了承ください。



建設業を担う次世代の仲間が参加

# 従業員を守るため

働き方改革学習会

## 正確な見積もりの出し方

2024年4月から

の働き方改革完全施行

を受け、建設業界で

「無理・できない」が

許されない時代が到来

する中、2025年9

月と11月の2回にわた

り、「働き方学習会」

を開催しました。全体

の参加者は10人。特に

これからの建設業を担

う次世代の仲間が参加

し、自らの賃金と従業

員を守るための知識を

深めました。

学習会は、昨年度の

開催に続き、仲間の強

い要望を受けて実施さ

れました。中心テーマ

は、賃金を確保するた

めの「正確な見積もり

の出し方」と、「通常

の経費の明確化」です。

従来の建設現場で問題

視されてきた「感覚的

な見積もりからの脱却

が急務とされています。参加者は、法定福利費が工事費のどこにあたるのか、通常必要と認められる経費の範囲はどこまでかなど、専門的な知識を学習しました。

講師担当者は、「正

確に見積書に明記し、

元請けに請求してい

なければ、下請けの負

担は減らない。この知

識は、働き方改革に対

応し、適正な対価を得

るための武器となる」

と強調しました。

人手不足が深刻化し、

雇ってもすぐに辞めて

しまう現状の建設業界

従業員を守り、長く働

ける環境整備が喫緊の

課題となっています。

今回参加した次世代

## 心強い仲間が増え

東部北地域 名刺交換会

一度に知り合える機会

恒例行事となってい  
る「東部北名刺交換会」  
が、11月29日(土)に  
久喜市三高サロンの盛  
大に開催されました。



自社の強みや専門性をアピール

当日は、東部北地域  
から23事業者26人の仲  
間が集結しました。開  
会にあたり、久喜幸手  
支部の松崎常任、続い  
て本部あいさつとして  
渡辺常任中執  
が登壇され、  
会の意義を力  
強く訴えまし  
た。  
交流に先立  
ち、経営情勢  
学習として、  
栗木本部書記  
次長による講  
演が行われま  
した。「正し  
い見積り、しっ  
かり請求」を  
テーマに、地

の仲間からは、「まず  
は紙ベースでの賃金引  
き上げの要望書作成に  
取り組んでいきたい」  
「従業員を守るために  
も、学習や相談できる  
ところが埼玉土建にあっ  
てよかった」と、学習  
会の重要性を裏付ける  
声が多く聞かれました。

埼玉土建では、こう  
した切実な声に応える  
ため、サポート体制を  
強化しています。一人  
で悩まず、何かあれば  
埼玉土建に相談や、学  
習会に参加してみてく  
ださい。

## 健康診断

今年度も集団健康診断を実施していますが、平日での健康診断を希望される場合には、下記のとおり受診申し込みが可能です(婦人科検診は不可)。

【医療機関】行田協立診療所

【住所】行田市本丸18-3

【電話】048-556-4581

【受診日時】医療機関より指定

【受診対象】埼玉土建国保加入者とその家族  
○予約されたら、支部事務所に予約した日時を連絡ください。

## 労働保険

埼玉土建は国認可の労働保険事務組合です。  
●相談窓口は33か所。年度更新や各種申請も気軽に相談できます。

事業所  
労災

一人親方  
労災

雇用  
保険

の加入者証を即日発行

### 労災保険

一人親方や事業主、事業主の同居の親族、法人の役員等は、通常、労災保険が適用されません。しかし、組合を通して「特別加入」することができます! 安心して現場で働くために、埼玉土建で「特別加入」しましょう。

事業主・一人親方保険料	給付基礎日額	事業主特別加入の保険料	一人親方労災の保険料
14,000円		48,545円	86,870円
12,000円		41,610円	74,460円
10,000円		34,675円	62,050円
8,000円		27,740円	49,640円
6,000円		20,805円	37,230円

### 事務費など

事務組合の加入金・事務費など*	
事業所労災	5,200円
事業所労災「特別加入」 (1人につき)	1,000円
一人親方労災	1,200円
労働者数1~4人	6,200円
労働者数5~9人	7,200円
労働者数10人以上	8,200円

\*別途、初回に労働保険加入金1,000円がかかります

### 雇用保険

労働者が退職し再就職するまでの期間、育児や介護のための休業期間中の生活費の一部が補填されます。  
面倒な手続きは組合で! 簡単確実、手数料も格安です。



### ■喜びの声が続々と

その後、食事を囲みながら、一人ひとりが自社の強みや専門性をアピールしました。続くフリータイムでは、一斉に名刺交換を開始、活発な情報交換と意見交換が行われました。

この会は、単なる名刺交換に留まらず、地域経済を支える事業者が横のつながりを深め、助け合う「ビジネスの絆」を構築する場として開催しています。次年度もこの時期に開催を予定しております。ぜひ肌で感じてみてください。